

活動履歴と今後の予定

4/7 清水沢東3号棟総会
 4/13 北浜住宅会役員会
 錦町東住宅世話人会
 4/19 清水沢東会役員会
 4/21 きたはま食堂(by仙台白百合女子大)
 4/26 清水沢東会総会
 5/11 シェアハウス菜園作業
 5/11 北浜住宅会役員会
 5/12 錦町東住宅世話人会
 清水沢東3号棟役員会
 5/14 第1回理事会
 5/19 シェアハウス菜園作業
 5/26 錦町東住宅 花壇の手入れ&BBQ大会
 5/28 塩竈市被災者支援ネットワーク会議
 5/28 しお:つな通信5号発行
 5/31 清水沢東会役員会
 6/8 錦町東住宅世話人会
 北浜住宅会役員会
 6/9 シェアハウス菜園作業
 6/23 第3期通常総会
 6/27 ほっと亭通常総会出席
 6/29 せんだい農業園芸センター&トマト狩り
 6/29-30 八本松児童館協働企画・段ボール防災キャンプ
 6/30 清水沢東3号棟BBQ大会

あすと食堂
好評開催中です！

〈これまでの内容とこれからの予定〉 ＊カッコ内は調理担当団体です。

4/5 あすと食堂(仙台白百合女子大)
 4/18 あすと第三食堂(ほっと亭)
 5/11 あすと第三食堂(みやぎセントラルキッチン)
 5/26 あすと第二食堂(仙台白百合女子大)
 6/8 あすと食堂(ほっと亭)
 6/16 あすと第三食堂(仙台白百合女子大)

お気軽に
ご参加
ください！

会員数
 正会員 36 (-4)
 賛助会員 22 (-1)
 facebook いいね!数 454 (+15)
 2019年6月1日 現在(前号比)

入会のご案内／寄付のお願い

つなセンでは、あすと長町を拠点としつつ、そこで培われた復興コミュニティデザインの経験を、東日本大震災の被災地や熊本など他地域へ伝えるべく、活動しています。民間非営利の立場で、枠にとらわれずに機動的に活動を続けていくためには、皆さまからの会費や寄付が大きな支えとなります。会員として、又は寄付を通じて、ぜひ応援をお願い致します。

継続的に応援するには

正会員又は賛助会員にご入会ください。
 ・正会員:年間6,000円・総会議決権あり
 ・賛助会員:年間3,000円・総会議決権なし

寄付のお振込先

〈口座名義〉特定非営利活動法人つながりデザインセンター・あすと長町
 ●郵便振替:02230-8-121908
 ●銀行振込:ゆうちょ銀行 二二九支店(ニニキュウ) 当座預金 0121908

会員団体のみなさま

@グリーン(宮城大学ボランティアサークル) 安全安心なまちづくり 一般社団法人日本で・あて推進協会 NPO 法人クラブス
 NPO法人 仙台傾聴の会 NPO都市住宅とまちづくり研究会 NPO法人東日本ネットワーク手にぎり隊
 NPO法人 みやぎ「こうでねい」と 共立女子大学 高橋研究室 グループひまわり CASEまちづくり研究所
 高齢者配食サービス「ほっと亭」 今野不動産株式会社 仙台白百合女子大学 佐々木研究室 仙台南健康友の会
 つばさ薬局長町店 東北工業大学 新井研究室 東北大学 東日本大震災PGT支援機構
 東北福祉大学 平泉研究室 東北学院大学 坂本研究室 都市建築設計集団/UAPP
 日本基督教団東北教区被災者支援センター・エマオ 長崎大学安武研究室 日本ヨーガ療法学会 認定療法士会みやぎ
 宮城厚生協会長町病院 みやぎ生活協同組合 宮城大学 森本研究室 有限会社栗駒建業

役員名簿

代表: 平泉 拓
 副代表: 新井 信幸
 副代表: 薄田 榮一
 理事: 宮本 愛
 理事: 加藤 涉
 理事: 森山 英子
 監事: 坂本 泰伸

編集後記

とあるSNSで、1817年に英国実業家ロバート・オーエンが「1日、仕事8時間、休息8時間、やりたいこと8時間」を提唱していたと知りました。前世紀末にはネット普及により、労働負担が軽減されるといった論調が溢れていましたが、今はむしろ有象無象の情報が曝され、仕事も休息もやりたいことも渾然一体となって疲労が抜けない時代になってしまっているようでなりません。これからAIの時代ならば、せめて200年前の目標を改めて目指してみようというはどうでしょうか？令和の目標として。〈新井〉

特定非営利活動法人

つながりデザインセンター・あすと長町

〒982-0011 仙台市太白区長町六丁目4番17-502号

TEL 080-3205-5177
 MAIL asuto@tsuna-cen.com
 WEB www.tsuna-cen.com

GOOD DESIGN AWARD 2018

11
2019.06つなセン
TSUNAGARI Design Center
NEWS

岩沼市玉浦西地区で行われた多世代交流イベント「Coppaフックシメン」

大人も子どもも、同じ場所で

北浜住宅、錦町東住宅で住民組織結成
 子どもたちと防災プロジェクト！
 つなセン長町事務所紹介
 【団体紹介】新井信幸研究室(東北工業大学)

活動報告

Main Topic



宮城県岩沼市玉浦西地区
多世代が活きる街へ！

宮城県岩沼市玉浦西地区

1 緑化活動とコミュニティ

津波で被災した6つの沿岸集落が一つにまとまって集団移転した玉浦西地区(岩沼市)は、住民主導でまちの計画づくりが進められ、早期にまちびらきが行われるなど、「復興のトップランナー」と言われてきました。しかし高齢化にともなう近所同士のコミュニケーションは希薄化し、自治活動も担い手不足が顕著となってきました。そうしたなか、つなセンでは、2017年春から地区内の災害公営住宅にて、中庭の緑化活動を通して居住者同士の交流を促す取り組みを支援してきました。その様子はつな



▲「Coppaワークショップ」は、ものづくりの場だけでなく、多世代のおしゃべりの場にもなりました。

センNEWS(当時あすと新聞)4号でも紹介しましたが、相野釜、長谷釜(旧集落)出身の方々が中心となって取り組み、今では草花が覆い茂る中庭となりました。そして「気持ちに潤いが戻ってきた」など、居住者から前向きな言葉が出てくるようになりました。

一方、同年秋には東北工大の学生さん(卒論)が暮らしとコミュニティの実態を把握するアンケート調査を実施しました。その結果、災害公営住宅(B-1地区)の約6割の世帯で65歳以上の高齢者が暮らし、また7割近くが2人以下の世帯となっており、高齢化と世帯の小規模化が進んでいることが数字でも明らかとなりました。また、緑化活動に参加した方のほとんどは高齢者である等、若い世代と乖離したコミュニティの実態が浮き彫りになりました。



▲2017年の緑化活動には、多くの住民が参加して賑やかに行われました。



▲「Coppaワークショップ」は、世代関係なく楽しめるイベントとなりました。

Topics

北浜住宅、錦町東住宅で住民組織結成

つなセンでは、昨年度より塩竈市の業務委託を受けて自治会未結成の災害公営住宅での住民組織設立の支援を行い、結果として今年の3月末に2カ所で住民組織が結成されることになりました。

北浜住宅は全31戸の小規模な集合住宅です。しかしながら入居者の方々の関心は高く、検討会の段階から毎回、半数前後の世帯が参加して



いました。3月中旬に開催した設立準備会では、会の名称、規約、役員体制等を確認し、3月30日の設立総会では、9割以上の世帯の賛成によって「北浜住宅会」の設立が可決されました。

一方の錦町東住宅は全70戸と

北浜の倍以上の規模ですが、検討会の参加者が限られ、なかなかメンバーが広がらないのが悩みでした。そこで、まずは検討会に参加している方を中心に世話人会を立ち上げ、半年程かけて正式な住民組織設立に向けた準備を進めることとしました。5月26日には、皆が気になりつつも放置されていた花壇の手入れを行うイベントを開催しました。

両住宅とも、4月末に実施した共益費の集金が最初の大きな懸案でしたが、役員さんや班長さんの頑張りのあって、概ね順調に進みました。しかし未収世帯はゼロではなく、今後の対応が課題となっています。



2 多世代交流イベントの開催

これを受けて、つなセンでは2018年度から、子どもたちが楽しめるイベントを開催し、多世代交流を促す支援に取り組んでいます。2018年11月には彫刻家の佐野美里さん等をお招きし、「Coppaワークショップ」を開催しました(共催:ビルド・フルーガス)。色とりどりの木っ端を使って、思い思いに動物等をつくって楽しみました。また、2019年3月には「お菓子の家づくり」を開催し、親子連れと高齢者が50名以上も参加し、地域外からも多くの方が加わって大盛況となりました。これには長谷釜町内会長の菊地幸一さんも「えがったねえ」と目をほそめていました。多世代交流イベントは今年度も継続して開催を計画していますので、皆様のご参加、ご協力をお待ちします！

3 持続可能なコミュニティづくり

高齢化にともなう、町内会等の活動の停滞がいたるところで生じています。その要因の一つに、活動の内容が高齢者向けのイベントに偏りがちで、そのことが余計に若いファミリー等の入会や参加を阻むことにつながっていると感じています。地域社会のニーズ、世帯や暮らしのかたちも多様になってきているため、これに対応した地域運営システムの構築と持続可能なコミュニティづくりが求められています。つなセンでは、その第一歩として、多世代交流に注力したいと考えています。



▲「お菓子の家づくり」では、地域内外の交流が生まれて、とても有意義な場となりました。

子どもたちと防災プロジェクト！ —八本松児童館との協働企画—

あすと長町の隣接地域にある八本松児童館(仙台市太白区)よりお声がけをいただき、子どもたちが主人公の防災キャンプと防災マップづくりのお手伝いをするようになりました。また、このプロジェクトには、これまで地域の防災まちづくりを実践してきた東北工大の菊地良學、伊藤美由紀研究室等がサポートしてくれることになり、先日、キックオフミーティングを開催しました。そこでは東京から招いたまちづくり専門家(おかのて・木村直紀氏)のアドバイスを受けながら、これらの取り組みから子どもたちが何を学ぶべきか、逆に子どもの行動から大人たちが何を学べるのか、そんな白熱した議論が展開されました。

防災キャンプは1回目が6/29開催予定で、2回目を今年度中に行う予定です。防災マップづくりは7月よりスタート予定です。

つなセン長町事務所紹介

昨年の夏より整備を進めていたつなセン事務所が、長町六丁目にオープンしています。つなセン会員を中心に様々な方々にお力添えいただき、床の張替えや家具の整備を終え、9月中ごろに開設しました。事務所にはおおきなテーブル、ホワイトボード、コーヒーマーカーなどがあります。シェアハウスや塩釜支援などのつなセンの最新ニュースもそろっています。ちょっとした打合せでのご利用やお茶飲みにお気軽にお越しください。事務局一同、心よりお待ちしております。

